

NISA成長投資枠の次の一手 専門家と学ぶ『半導体・投資信託』の可能性

このブームはバブルなのか、序章なのか？

2030年にかけて市場規模のさらなる拡大が期待される半導体産業の今後を徹底解剖。
NVIDIA一強の先にある「次の主役」の見極め方と、NISAを活用した半導体・投資信託の
可能性を公開。



PIVOT MC

国山ハセン

野村アセットマネジメント
チーフ・ポートフォリオ・マネージャー

加藤 明

国山 NISAの成長投資枠で次に何に投資すべきか、悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。特に、近年注目を集めている「半導体株」は、AIとの関連性から大きな成長が期待されています。

半導体相場は過熱気味なのか、それともまだ序章と言える

のか。NISA成長投資枠の戦略に悩むビジネスパーソンに向け、野村アセットマネジメント チーフ・ポートフォリオ・マネージャーの加藤明さんに、半導体市場の未来と、NISAを活用した投資の可能性についてお話を伺います。

テクノロジーが変わっても、半導体は成長する

加藤 よろしくお願ひします。私は2021年から野村アセットマネジメントで「野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)」(以下「当ファンド」)の運用を担当しています。特に半導体株に関しては、単なる一時的なブームではなく、デジタル社会の基盤を支える「長期成長テーマ」としての側面を強く感じています。

国山 加藤さんが運用されている「野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)」は、私も以前から知っていました。設定は2009年と、実はかなり歴史がある商品ですね。

加藤 世の中に「半導体ブーム」が来るずっと前から、私たちはこの分野の可能性を信じて運用を続けてきました。

本日は、なぜ半導体株はこれほどの高成長を実現してきたのか、そしてこれからのNISA戦略にどのような選択肢があるのかを詳しくお話できればと思います。

国山 まず、市場全体のポテンシャルについて伺います。2030年に向けて世界の半導体市場規模は1.3兆ドルに達し、現在の約2倍になると予測されています。この数字をどう見えていますか。

加藤 結論から申し上げます、この1.3兆ドルという数字すら、私はかなり保守的な見積もりだと考えています。

過去を振り返ると、半導体市場は世界のGDP成長率の2~3倍※という驚異的なペースで拡大し続けてきました。1990年から2030年にかけての市場規模の変化を見ると、およそ25倍になります。これほど長期間、高成長を続けてきた産業は他に類を見ません。

国山 なぜ、それほどの成長が可能なのでしょう。一過性のブームで終わらない理由はどこにあるのでしょうか。

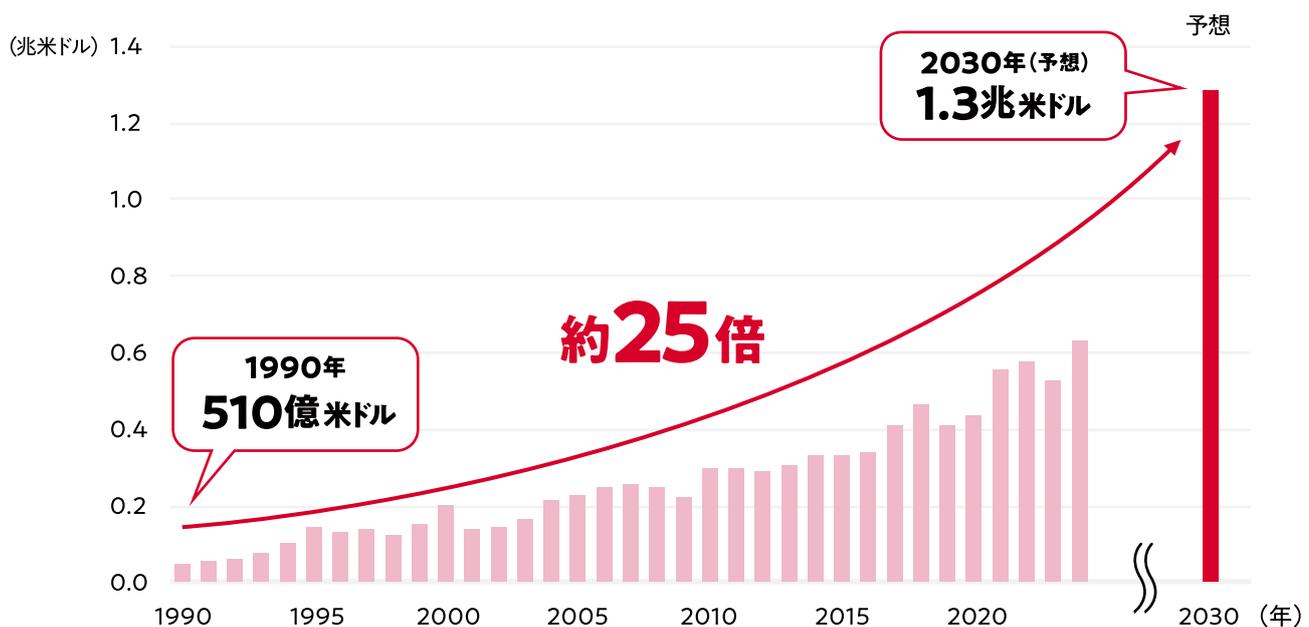
加藤 それは、半導体の需要が「置き換え」ではなく「積み上げ」

※期間：1990年～2024年、年次。世界の名目GDPおよび世界の半導体市場規模の成長率を比較。

名目GDPについて、2024年以前は一部推定値を含む場合があります。

(出所) IMF「World Economic Outlook Database, April 2025」、Statistaのデータを基に野村アセットマネジメント作成

世界の半導体市場規模の推移



期間：1990年～2030年、年次、2030年はStatistaの予想。

(出所) WSTSおよびSIA(1990年～2024年)、Statista(2030年)のデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

によって形成されているからだと考えています。ここが非常に重要なポイントです。

例えば90年代、PCの普及によりCPU*の需要が爆発しました。その後、インターネットが登場し、通信機器向けのチップが必要になった。さらにスマートフォン、クラウド、電気自動車(EV)とトレンドは重層化し、旧世代の需要を維持したままAIという巨大なレイヤーが加わりました。

国山 なるほど。需要が足し算され続けているのですね。
加藤 この構造こそが、半導体市場の強さです。現在はChatGPTやGeminiといった生成AIへのニーズが牽引していますが、これはまだ序章に過ぎないと考えています。

今後は、AIがホワイトカラーの業務を自律的に代行する「エージェントAI」や、工場や建設現場のロボットに搭載される「フィジカルAI」なども登場してくるでしょう。

そうならば、頭脳となる演算用半導体だけでなく、ロボットを動かすモーター制御のためのパワー半導体、視覚となるイメージセンサーなど、あらゆる種類の半導体が爆発的に必要になります。人間がデジタルな利便性を手放し、山に籠もって生活するような選択をしない限り、この成長トレンドは不可逆なものだと考えています。

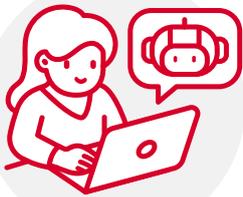
※Central Processing Unit (中央演算処理装置)の略で、PCの主要な構成要素の一つ。データの演算やPC内の装置の制御などを行う。

AI技術の進化イメージ



フィジカルAI

実世界の物理法則
(重力、摩擦、物体の動きなど)を理解し、
それに基づいて判断、行動する



エージェントAI

特定の目標を達成するため、
自律的に計画を立て行動する

生成AI

既存のデータを基に文章、画像、
音声、動画などを生成する



(出所) CES、各種資料より野村アセットマネジメント作成

MAG7のAI投資と「ツルハシ」の論理

国山 一方で、市場の一部には「AI投資は過熱気味だ」「巨額投資に見合う収益化(マネタイズ)ができていない」という懸念もあります。いわゆるAIバブル論ですが、これについてはどうお考えですか。

加藤 その問いに答えるには、MAG7(マグニフィセント・セブン/Google、Apple、Meta、Amazon、Microsoft、TESLA、NVIDIA)といった巨大テック企業が、なぜAI投資を止めないのか、その「動

機」を読み解く必要があります。

彼らにとってAI投資は、将来の収益源である以前に、現在のビジネス領域を守るための必要経費なのです。もしMAG7がAI開発の手を緩めれば、OpenAIやアンソロピック(Anthropic)といった新興勢力に、自社のビジネス領域を奪われることになるでしょう。

国山 そこで浮上するのが、「ゴールドラッシュ」の教訓ですね。

加藤 かつてのアメリカのゴールドラッシュで、最も長期的に富

上記は特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

加藤 明

野村アセットマネジメント

チーフ・ポートフォリオ・マネージャー

日系運用会社を経て、2021年に野村アセットマネジメント入社。
グローバル株式のポートフォリオマネージャーとして
米国の成長株を中心に10年以上の運用経験を有する。
半導体株式の投資信託のほか、AI関連株式の投資信託も担当。
博士号(工学)取得。



を築いたのは誰だったか。それは、一攫千金を夢見て金山に殺到した採掘者たちではありませんでした。彼らに向けて「ツルハシ」や「シャベル」を売った周辺ビジネス、関連企業でした。

現代に置き換えれば、金脈があるかわからない場所を必死に掘っているのがMAG7です。彼らの勝敗は不確実ですが、彼らが競争を続ける限り、継続的な売上が期待されるのが「半導体」というツルハシなのです。

代表的なインデックス投資であるS&P500や全世界株式(オール・カントリー)*に投資するということは、構造的に「金を掘る人(MAG7)」への比重が高くなります。対して我々が狙うのは、その裏で着実にキャッシュフローを生み出す「ツルハシ売り」の企業群です。この視点の転換こそが、インデックスを上回るリターンを生む鍵になると考えています。

※MSCI All Country World Index を指す

「GPU稼働率50%」の衝撃。 ボトルネックが生む「次」の投資機会

国山 「ツルハシ売り」の筆頭といえばNVIDIAですが、最近は一強状態への懸念も聞かれます。「半導体投資=NVIDIA投資」と考えて良いのでしょうか。

加藤 いえ、NVIDIAだけで語れるほど、この業界は単純ではありません。むしろ、NVIDIA一辺倒の投資にはリスクがあると考えています。私が運用するファンドでも、確かにNVIDIAの比率は高いですが、それだけではない「次の主役」を常に組み入れています。

そのヒントとなるのが、現場で起きている技術的な「ボトルネック」です。

国山 具体的にどういうことでしょうか。

加藤 例えば、AIデータセンターを構築するために、1基300万円もするGPUを10万基並べたとします。投資額は約3,000億円。凄まじい金額です。

しかし、実はその高価なGPUクラスター*が、現状ではスペックの半分程度しか稼働していないケースがあるのをご存知でしょうか。

国山 3,000億円かけて、半分しか使われていないんですか？

加藤 ええ。あまりに勿体ない話ですが、原因は「通信速度」です。GPUの計算能力が高すぎて、GPU同士をつなぐ通信速度が追いつかず、データの到着待ちが発生しているのです。

こうなると、次に投資が向かうのは「通信の高速化」です。GPU間をつなぐ通信チップや光ファイバー関連技術を手掛ける、ブロードコム(Broadcom)やマーベル(Marvell)といった企業の重要性が高まるでしょう。

国山 なるほど。他にもそのような「隠れた主役」はいますか？

加藤 AIの用途が広がれば、求められる半導体も変わります。

例えば、ロボットにAIを搭載して動かす場合、NVIDIAのような超高性能チップは電力消費が激しすぎて、バッテリー駆動のロボットには向きません。そうなれば、クアルコム(Qualcomm)や台湾のメディアテック(MediaTek)等の省電力技術が必要になります。また、生成AIが扱うデータ量の増加には、マイクロン(Micron)やSKハイニクス(SK hynix)等のメモリが不可欠です。

国山 トレンドの推移に合わせて、主役となる企業が次々と入れ替わっていくわけですね。

加藤 PC時代はインテル、スマホ時代はクアルコム、今はNVIDIA。時代ごとに主役は変わってきました。この技術的な課題(ボトルネック)の移動に合わせて、投資対象を機動的にシフトできるのが、インデックスファンドにはないアクティブ運用の強みです。

※複数のGPUを搭載したサーバーを高速ネットワークで接続することで、大規模タスクの高速処理等を可能にするシステムのこと。

上記は特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。



国山ハセン

PIVOT MC

TBSテレビにてアナウンサーとして「news23」「Nスタ」「アッコにおまかせ」等、報道番組キャスターからスポーツ、情報、バラエティ番組まで幅広く担当。

2023年1月よりPIVOTにプロデューサーとして参画。

番組出演・企画制作を担当。

サッカーと日本酒を愛する1児の父。

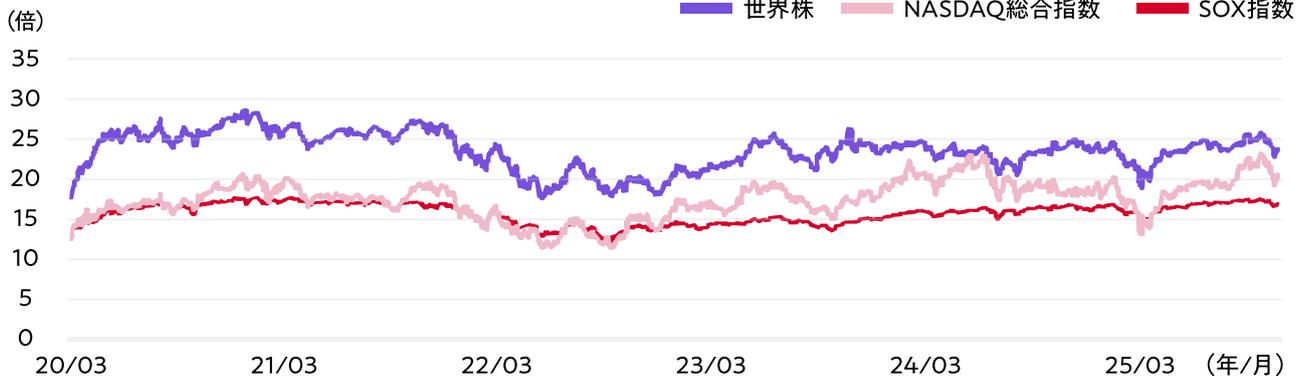
「割高」の正体と、プロが読み解くPER

国山 しかし、半導体株と聞くと、多くの個人投資家が「今から参入するには遅すぎる」「NVIDIAは高値掴みではないか」と感じているのではないのでしょうか。株価収益率(PER)などの指標から見て、現状は割高ではありませんか？

加藤 「株価が上がっている=割高だ」というのは錯覚です。株価の適正感は、株価と利益のバランスで見べきです。

現在の半導体セクター(SOX指数)のPERを分析すると、過去の平均値と比較しても、あるいは世界株やNASDAQ総合指数などの他の株価指数と比較しても、決して明らかな高水準にはありません。つまり、株価の上昇以上に、企業の「一株当たり利益(EPS)」が成長しているのです。

予想PERの推移



期間:2020年3月31日~2025年11月28日、日次、予想PERは24ヶ月先PERを使用 (出所) Bloombergのデータに基づき野村アセットマネジメント作成
世界株はMSCI All Country World Index

国山 確かに、比較してみるとそうですね。EPSが成長している主な要因はなんでしょうか。

加藤 その背景には「高い参入障壁」と「寡占化」があると考えています。

特に最先端の半導体の製造には、多額の設備投資と高度な技術蓄積が必要で、新規参入への障壁が非常に高いのです。その結果、市場全体は成長しているのに、プレイヤーの数はむしろ減り、淘汰が進んでいます。

つまり「市場全体の成長率以上に、生き残った1社あたりの取り分(利益)が多くなる」ということです。例えば、市場の成長が10%でも、勝ち組企業の利益は30%、40%で成長する。だからこそ、株価もそれに連動して上昇していくわけです。

私は15年以上グローバル株式を見てきましたが、これほど長期にわたり「市場成長」と「寡占による利益増」がセットで続いている産業は他にありません。

国山 それでも「半導体株は値動きが激しい(ボラティリティが高

上記は特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。
また、過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。



い)」というイメージが強く、手を出しにくい人も多いと思います。

加藤 確かに、半導体株指数(SOX指数)は、1年で最大4割程度下落する局面も過去にはありました。

しかし、ここで重要なデータがあります。過去の実績ではありませんが、計158回のシミュレーションにおいて、当ファンドに3年間継続して投資した場合、どのタイミングで投資を開始したとし

半導体株の1年騰落率の推移

(前年同月比、%)



期間:2010年9月~2025年9月、月次、半導体株はSOX指数(米ドルベース、配当なし) (出所) Bloombergのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

ても、全てのリターンがプラスになったという結果が出ています。

短期的な急落はあっても、中長期的に成長することで、その後回復に転じてきた。この「復元力」が半導体市場の魅力です。

また、投資信託というパッケージであれば、お客様に代わって、プロがリスク管理を行うため、中長期で保有いただくと考えています。

当ファンドを3年間保有した場合のリターン(当ファンド設定月未来)

平均リターン	リターンがプラスだった回数	総回数
98%	158回	158回

期間:2009年9月末~2025年9月末、月次

2009年8月末から2025年9月末の基準価額(分配金再投資)の月次データを基に、基準月まで3年間保有した場合のリターンを算出しています。

例えば、2025年9月末のリターンは、2025年9月末まで3年間保有した場合のリターンとなります。

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

(出所)野村アセットマネジメント作成

上記は特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

また、過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

NISA成長投資枠での「サテライト戦略」

国山 最後に、具体的な資産形成の戦略について伺います。NISAという限られた枠の中で、どのようにこの半導体ファンドを組み込むべきでしょうか。

加藤 ビジネスパーソン資産形成における基本的な戦略の一つが「コア・サテライト戦略」です。「つみたて投資枠」でS&P500や全世界株式などのインデックスファンドや複数の資産に分散投資を行うバランスファンドなどを積み立て、資産の土台となる「コア」を固めます。これは、市場平均のリターンを享受するための戦略です。

その上で、「成長投資枠」の一部を活用して、今回お話ししたような半導体アクティブファンドを「サテライト」として加える。これが成長を目指す戦略になります。

国山 インデックスファンドにもNVIDIAなどの主要な半導体株が含まれていますが、それでは不十分なのでしょうか。

加藤 インデックスにおける半導体セクターの比率は、全体で見れば10%程度に過ぎません。また、インデックスは過去の時価総額に基づくため、「通信チップの重要性」といった未来のトレンドを先回りして反映することは難しいのです。

国山 実際の投資の効果として、分かりやすい数字があればぜひ教えてください。

加藤 あくまでも過去のシミュレーションですが、2009年の設定時

より当ファンドを毎月5万円積み立てた場合、積立総額は約1,000万円になり、足元の基準価額に基づく積立評価額は約1.6億円となるシミュレーション結果が出ています。

国山 1.6億円ですか…！毎月5万円の積立で「億り人」になれた可能性がありますということですね。

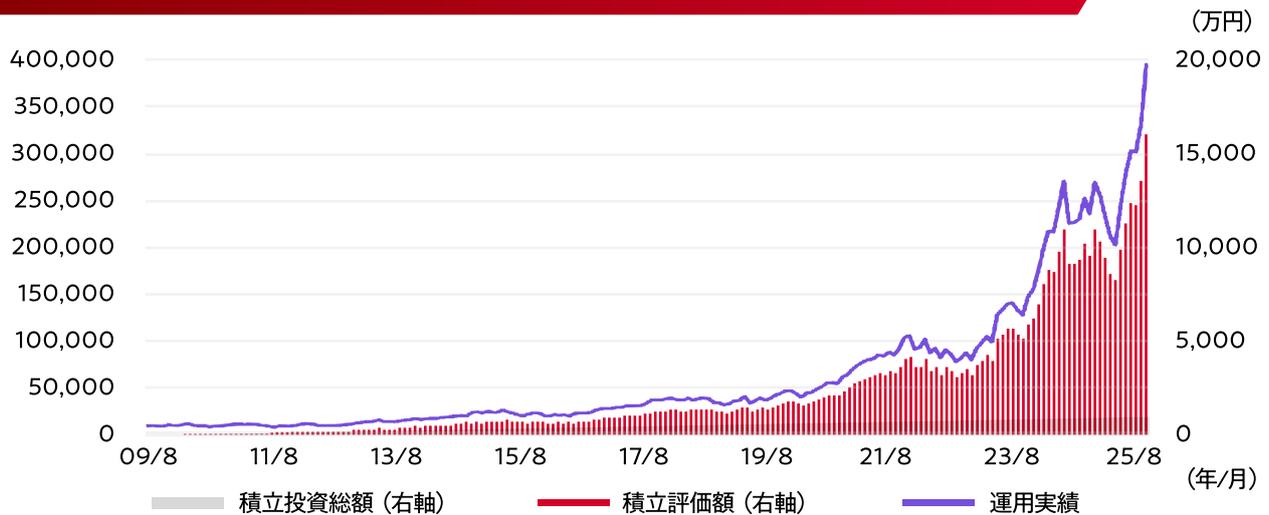
加藤 もちろん、これは過去の実績であり将来を保証するものではありません。しかし、成長する市場に「プロの目利き」を介して長期で投資し続けることが、どれほどの結果を生むかという一例にはなるはずですよ。

半導体市場はさらなる成長が期待される市場です。一方で、半導体株は他の資産に比べて値動きが大きいため、中長期目線での投資や積立投資を取り入れ、NISAなどの非課税制度も賢く使いながら、時間を味方につけた投資に活用いただきたいですね。私たちはそのための「目利き」として、これからも最良のポートフォリオを提供し続けられるよう努めます。

国山 「半導体=バブル」という先入観を捨て、その背後にある強固な需要と、プロの運用の合理性がよく分かりました。貴重なお話をありがとうございました！

構成/久慈桃子、宮本恵理子 デザイン/PIVOT

野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)の積立投資のシミュレーション



期間: 2009年8月末～2025年10月末、月次

上記は2009年8月末から2025年10月末までの期間、毎月末に5万円ずつ積立投資を行った場合のシミュレーションです。

シミュレーションは、基準価額(分配金再投資)を基に試算した結果であり、実際のファンドで積立投資する場合は分配金払い出し後の基準価額で購入するため、上記の積立評価額は実際と異なる場合があります。算出過程で手数料、税金等は考慮していません。積立の時期によっては積立評価額が積立投資額を下回る場合があります。基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。毎月最終営業日の基準価額(分配金再投資)で積立投資を行なったと想定して計算しています。運用実績は2009年8月末を10,000として基準価額(分配金再投資)を指数化しております。

(出所)野村アセットマネジメント作成

上記は特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。また、上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）」

「野村世界業種別投資シリーズ」

【ファンドの特色】

「野村世界業種別投資シリーズ」は、4本のファンドとマネーボール・ファンドから構成されています。以下、マネーボール・ファンドを除く4つのファンドを総称して「各ファンド」といいます。

- 各ファンドは、世界各国の株式（「金融株」、「半導体株」（「半導体関連企業の株式」）、「資源株」（「資源関連企業の株式」）、「ヘルスケア株」（「ヘルスケア関連企業の株式」））を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- マネーボール・ファンドは、円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象*とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネーボール・ファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

世界半導体株投資は、一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に定められている「特化型運用」を行なうファンドに該当します。世界半導体株投資が投資対象とする世界各国の半導体関連企業の株式市場には、寄与度（市場の時価総額に占める割合）が10%を超える、もしくはを超える可能性が高い銘柄（支配的な銘柄）が存在すると考えられます。投資が支配的な銘柄に集中することが想定されますので、当該支配的な銘柄の発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化等が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの特色」をご覧ください。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネーボール・ファンド」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 【各ファンド】
無期限（2009年8月27日設定）
【マネーボール・ファンド】
2027年6月28日まで（2009年8月27日設定）
年1回の決算時（原則6月28日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
ご購入申込日の翌営業日の基準価額
1万口以上1口単位（当初元本1口＝1円）
または1万円以上1円単位
（ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。）
なお、「マネーボール・ファンド」は、スイッチング以外によるご購入はできません。
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各ファンド】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
【マネーボール・ファンド】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「野村世界業種別投資シリーズ」を構成するファンド間で、スイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 各ファンドは、販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ロンドンの銀行 ・ニューヨーク証券取引所
個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。
【各ファンド】は、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。
【マネーボール・ファンド】は、NISAの対象ではありません。
なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 課税関係

【当ファンドに係る費用】

（2026年3月現在）

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、各ファンドから「マネーボール・ファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	【各ファンド】 ファンドの純資産総額に年1.65%（税抜年1.50%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 【マネーボール・ファンド】 ファンドの純資産総額に年0.605%（税抜年0.55%）以内（2025年8月末現在年0.33%（税抜年0.30%））の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入の有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用（「マネーボール・ファンド」を除く）、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）	【各ファンド】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネーボール・ファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

当資料で使用した指数について

●MSCI All Country World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

【当資料について】 ●当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご注意事項】 ●ファンドは、元金が保証されているものではありません。●ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

設定・運用は

NOMURA

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社あいち銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○		○	
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○			
朝日信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第143号	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			
丸近証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第35号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)

以下は、取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。